



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使 用 回 数	使用方法	クロラントラニリブ ロールを含む農薬 の総使用回数
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシャク	2000倍	200～400ℓ/10a	摘採3日前 まで	1回		1回
	チャノホソガ ハスモンヨトウ	2000～4000倍					
りんご	ギンモンハモグリガ キンモンホソガ ハマキムシ類 シンクイムシ類 ケムシ類 ヒメボクトウ ヨモギエダシャク オオタバコガ ヨトウムシ	2500～5000倍	200～700ℓ/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回 以内
ぶどう	ハマキムシ類 モンキクロノメイガ ケムシ類 クビアカスカシバ ハスモンヨトウ	5000倍					
おうとう	コスカシバ ハマキムシ類 ケムシ類	2500～5000倍					
	オウトウショウジョウバエ	2500倍					
なし	ケムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ヒメボクトウ	2500～5000倍					
もも	シンクイムシ類 モモハモグリガ	5000倍		収穫3日前 まで	2回 以内		2回 以内
ネクタリン	ハマキムシ類 コスカシバ						
かき	ヒロヘリアオイラガ カキノヘタムシガ ハマキムシ類 ケムシ類 ハスモンヨトウ フタモンマダラメイガ	5000倍		収穫前日 まで	3回 以内		3回 以内
うめ	コスカシバ ノコメトガリキリガ ケムシ類	2500～5000倍		収穫14日前 まで			
	ハマキムシ類	2500倍		収穫3日前 まで			
すもも	シンクイムシ類	2500～5000倍					
あんず	ケムシ類 ハマキムシ類						
ふさずぐり	スグリコスカシバ	2500倍		収穫前日 まで	2回 以内		2回 以内
さとうきび	メイチュウ類	5000倍	100～300ℓ/10a	収穫30日前 まで	3回 以内	無人航空 機による 散布	4回以内 (粒剤は1回以 内、水和剤は3 回以内)
	ツマジロクサヨトウ	50倍	2.4ℓ/10a				





効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用する。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - ①散布は散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - ②散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 過度の連用をさけ、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

